

現状・課題

独立行政法人教職員支援機構は、教職員支援のナショナルセンターとして、学校教育関係職員の資質向上を図ることを目的に、様々な研修事業等を行っていることから、研修の受講者が安全・安心に研修に専念できるようにするとともに、非常災害時には応急避難場所としての機能を果たせるよう、経年劣化の著しい施設について、必要な改修工事を実施する。

事業内容

1. 食堂棟外壁改修その他工事

食堂棟は建設から26年を経過し、この間大規模な修繕を実施しておらず、特に外壁と屋上防水は劣化が著しいため、改修工事を行う。

2. 食堂棟空調設備改修工事

食堂棟に付帯する空調設備について、原状機器設置後26年を経過していることから、老朽化による故障及び、修理部品等調達困難も踏まえ、空調機器の一部更新を行う。

3. 構内屋外消火管改修工事

防災上不可欠な屋内消火栓設備の主要な消火管においては、敷設後51年を経過しているものもあり、防災機能の安全性・信頼性を確保するため改修工事を行う。

4. 構内屋外基幹電力線改修工事

施設利用に不可欠な基幹設備である主要電力線については、敷設後51年を経過し未改修のものもあり、ライフラインを確保するため工事を行う。

【スキーム図】



劣化により雨水が浸透している
食堂棟外壁



設置後26年が経過し、修理部品
の調達が困難な空調機器



敷設後51年を経過し、腐食がみ
られる消火管



敷設後51年が経過し、老朽化が
進んだ基幹電力線

アウトプット（活動目標）

経年劣化した施設の改修

アウトカム（成果目標）

- ・研修に専念できる環境づくり
- ・応急避難場所としての機能強化